

新潟県の地震概況 令和6年(2024年)9月

令和6年10月17日

新潟地方気象台

【9月の地震活動概況】

この期間、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震はありませんでした。これは、平成29年(2017年)11月以来です。また、新潟県とその周辺(図1)で発生した地震で、県内で震度1以上を観測した地震はありませんでした。(「期間内に発生した主な地震」を参照)

【9月に新潟県周辺で発生した地震】

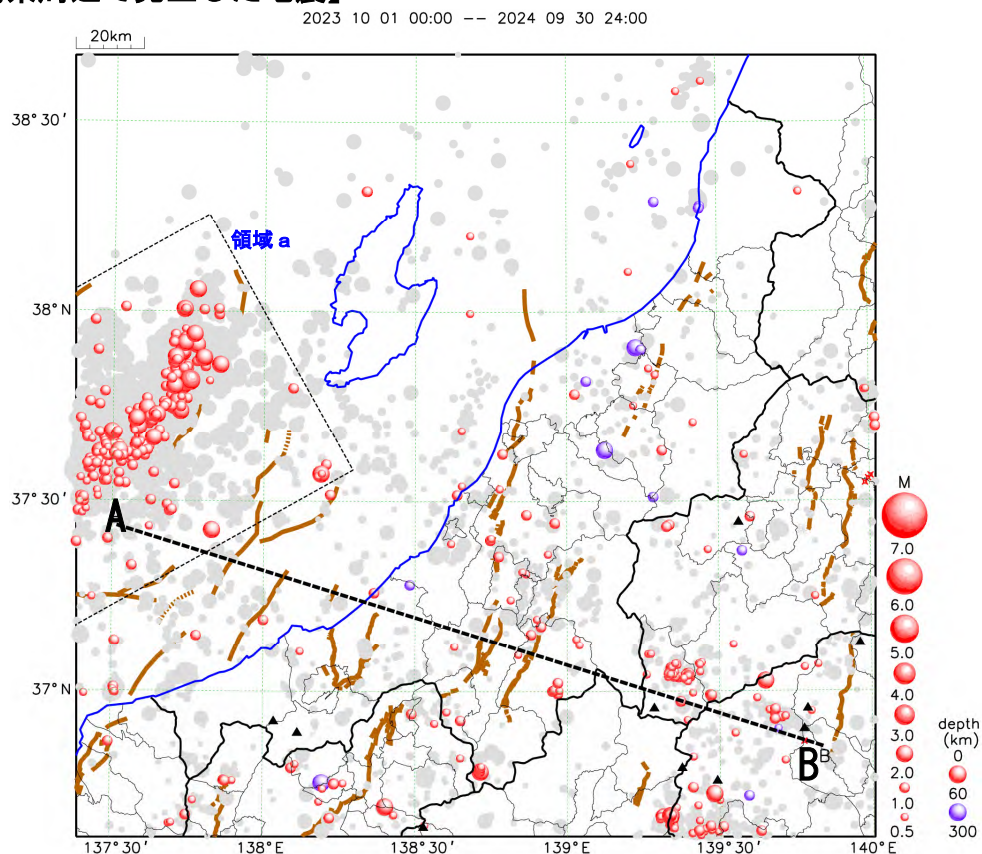


図1 震央分布図(深さ0~300km、M0.5以上)

※過去1年間の地震を表示。令和6年9月に発生した地震を赤又は青、それ以前はグレーで示した。

※図中の茶色線は地震調査研究推進本部で長期評価されている活断層を示す。

※図中の▲は活火山を、✕は深部低周波地震を示す。

※領域aは令和6年能登半島地震の活動域を示す。

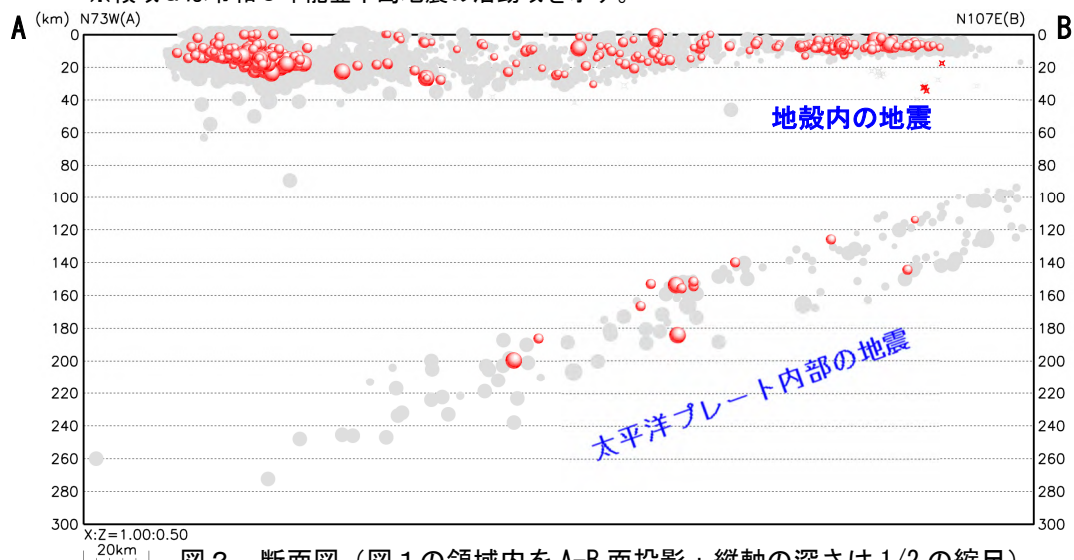


図2 断面図(図1の領域内をA-B面投影:縦軸の深さは1/2の縮尺)

【期間内に発生した主な地震】

○ 県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

○令和 6 年能登半島地震

令和 6 年能登半島地震の地震活動は、2020 年 12 月から 3 年以上続いており、1 月 1 日に発生した M7. 6 の地震からは 9 ヶ月以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきていますが、依然として地震活動は活発な状態です。

9 月中の最大規模の地震は、29 日 00 時 53 分 石川県西方沖（最大震度 1）で発生した M3. 7 の地震です。震度 1 以上を観測した地震は 18 回発生（注 1）しましたが、新潟県で震度を観測する地震はありませんでした。

注 1）震度 1 以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

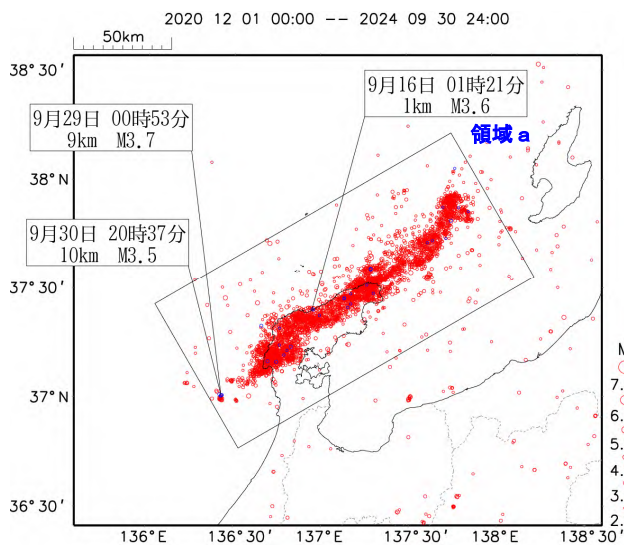


図 3 震央分布図（深さ 0～30km、M2. 5 以上）

- ・ 図 3 の吹き出しは 2024 年 9 月に発生した、最大震度 3 以上の地震又は M3. 5 以上の地震
- ・ 図 4 の左側縦軸はマグニチュード、右側縦軸は地震の積算回数
- ・ 2020 年 12 月～2024 年 8 月に発生した地震を赤色、2024 年 9 月を青色で示した

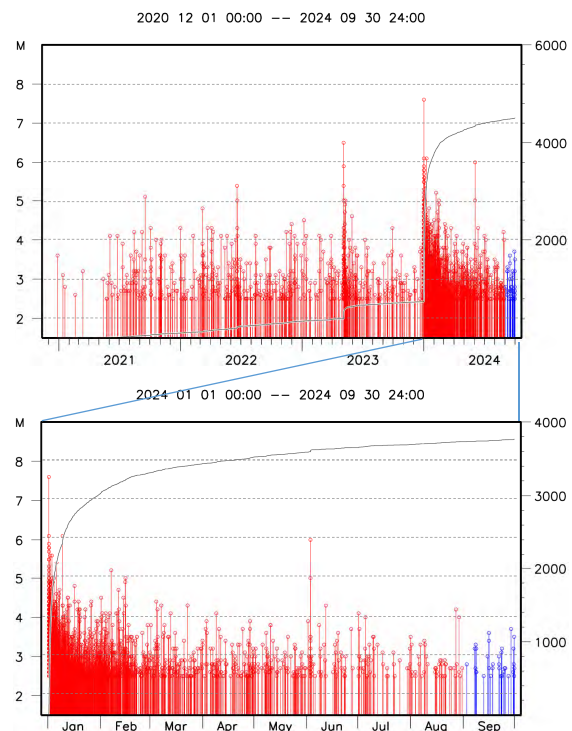


図 4 図 3 の領域 a 内の活動経過図及び回数積算図

【新潟県内で震度 1 以上を観測した地震】 期間 2024 年 9 月 1 日～2024 年 9 月 30 日

地震の発生日時（年/月/日/時:分）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模	全国最大震度
各地の震度 * は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点						
県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。						

【震度分布図】

県内の震度観測点で震度 1 以上を観測した地震はありませんでした。

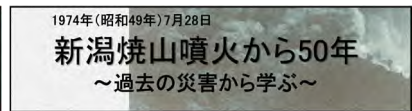
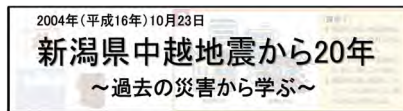
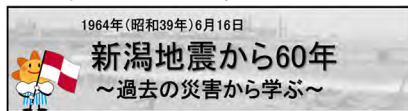
【新潟県内で最大震度 1 以上を観測した月別・震度別地震回数表】

年	2023 年			2024 年									
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
震度 1	1	3	3	96	6	7	1	2	6	6	2	0	133
震度 2	0	1	1	32	4	1	2	0	1	0	1	0	43
震度 3	0	1	0	12	3	0	0	0	0	1	0	0	17
震度 4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
震度 5 弱	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度 5 強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度 6 弱	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	1	5	4	143	13	8	3	2	8	7	3	0	197

【過去の地震・津波災害から学ぶ】

○2024年は新潟地震から60年、新潟焼山火山災害から50年、平成16年(2004年)新潟県中越地震から20年という、災害の発生から節目の年となります。県内に「防災・減災 新潟プロジェクト 2024」が立ち上がり、気象台も参加しています。 <https://www.hrr.mlit.go.jp/project2024/>

※気象台ではこの活動の取組の一つとして、これらの特設サイトを開設しました。(令和6年4月26日)
過去の大災害から学び、日頃から地震や津波、火山噴火への備えを心かけると共に、防災教育等にもご活用ください。



新潟地方気象台HPのトップページで各サイトへのリンクを掲載しています。

【令和6年能登半島地震の各種資料】

○令和6年能登半島地震の関連情報

関連報道発表等の地震関連情報の他に、被災地向けの気象支援資料なども掲載されています。

https://www.jma.go.jp/jma/menu/20240101_noto_jishin.html

令和6年1月 地震・火山月報(防災編)に特集ページとして掲載されています。

<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202401/202401index.html>

令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項ポータルサイト

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>

注) 利用にあたって

- 資料は速報であり後日の調査により変更されることがあります。
- 新潟県内で震度1以上を観測した地震の一覧表の震度は、県内のみを記述しています。
また、最大震度は、県内または県外での値を記述しています。
- 気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け(注1)、文部科学省と協力して処理を行っています。
また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

(注1) 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

- この地震概況は新潟地方気象台ホームページの地震解説資料・地震概況のページに掲載しています。
https://www.data.jma.go.jp/niigata/jishin/jishin_kaisetu_index.html
- 資料についての問い合わせ先：新潟地方気象台電話：025-281-5872

【地震・津波一口メモ】

11月5日に緊急地震速報の訓練を行います ～自分の命を守るためにご参加ください～

内閣府(防災)、消防庁、気象庁では緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守る等の防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。この機会に身を守る行動を体験してください。

1. 訓練実施日時方法

令和6年11月5日(火) 10時00分頃

(気象庁からの訓練用緊急地震速報の配信時刻)

- ・市町村等が実施する防災行政無線の放送
- ・行政機関の建物等における館内放送
- ・専用受信端末を整備された施設の報知

※気象・地震活動の状況等によっては、訓練用の緊急地震速報の配信を急きょ中止する場合があります。

2. 訓練の内容等

訓練に参加される方は、訓練用の緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保」しましょう。

なお、訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオ(一部のコミュニティFM等を除く)等の放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール、エリアメールには流れません。

訓練方法等の詳細については、以下の気象庁HPをご覧ください。

- ・緊急地震速報を活用した訓練について

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/kunren/kunren.html>

○震源を推定し揺れの強さを予測

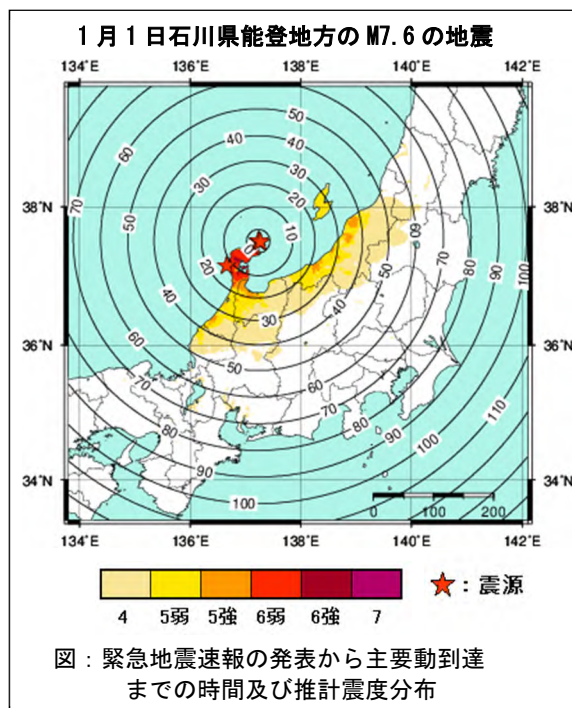
地震発生後、震源付近の少ない観測点のデータを元にできる限り早く震源やマグニチュード(M)を推定します。その震源とマグニチュード(M)等を元に、各地点の揺れの強さ(震度と長周期地震動階級)と到達時刻を予測します。

○シェイクアウト訓練について

いざという時にすばやく反応するためには頻繁に練習を積んでおくことが必要です。

地震発生時、激しい揺れに襲われるまで、または何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。

「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議(Shakeout 提唱会議)」は、訓練に合わせた全国的なシェイクアウト訓練の実施について呼びかけを行っています。 <https://www.shakeout.jp/>



DROP!



COVER!



HOLD ON!

イラスト：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

※緊急地震速報の訓練は、新潟県及び各市町村の防災訓練等でも実施する事があります。緊急地震速報を見聞きした場合、どのように身を守る行動をとるのか、日頃から考えておきましょう。